

特定非営利活動法人市民まちづくり会議・むさしの

平成 27 年度 第 14 回総会

平成 27 年 6 月 6 日(土)午前 10～12 時

(審議事項)

議案1(平成 26 年度事業報告および決算報告)

事業報告書は別紙1-1、収支計算書及び監査報告は別紙1-2及び1-3のとおり。

(提案事項)

提案1(平成 27 年度事業計画及び収支予算)

事業計画と収支予算は各々別紙2-1と2-2のとおり。

以上

別紙1-1(平成26年度事業報告書)

1. まちづくり事業

1) 地区計画等のまちづくりの構想や計画の策定

(1) 武蔵野市都市計画マスタープラン推進状況のモニタリング方策検討及び実施(継続、各地区担当者)

- 事業内容: 主担当・地区担当を通じて実施する。
 - (吉祥寺西コミセン地区) 今年度も吉祥寺西コミュニティ協議会にて、街並みウォッチングが開催された。参加要請を受けたが都合が合わず参加できなかった。協議会の報告を見ると、都市マス改訂意見交換会の頃から課題となっていた商店街の路上への看板の設置やはみ出し陳列は、回を重ねる毎に減少している模様。(塩澤)
 - (境南地区) プレイス西通り(観音院前)3.4.27号線のあり方についてフォローアップを開始、来年度から有志及び市民の参加を募り、「市民が憩えるプレイス西通りをつくる会」(略称「プレイス西通りの会」)を設立し、活動を開始(中島、坪原、篠原)。
- 事業内容: ウェブサイトの更新作業に合わせて、「武蔵野市都市計画マスタープラン推進状況のモニタリング方策 検討及び実施」事業成果をウェブサイトで公開し、市民に活用してもらう方策を検討する。
 - ウェブサイト更新作業が手つかずのままの状態であるため進展なし(篠原)。

2) まちの利便、景観、環境、安全等の保全や向上に資する実践活動

(2) コミュニティ支援事業(継続、各地区担当者)

- 事業内容: コミュニティ要請に応じて対応する。
 - 特になし。

(3) 「外環の地上部街路に関する話し合いの会」への副司会者の派遣等

(主担当:村井、副担当:南、原、塩澤、篠原)

- 事業内容: 準備会も含めて副司会者の派遣を継続する。司会者の意向もあり、本年度が最終年度となる可能性がある。話し合いの会の状況について会員に十分な情報提供を行う。
 - 26年度は、第19回(8/21)、第20回(3/27)の2回しか開かれず、その間練馬の地上部街路の計画や杉並の住民による都市計画提案などの動きがあり、武蔵野市の話し合いの会の議論は深まっていない。6か月以上、話し合いの会の間隔が空く状況では、参加者のモチベーションも下がってしまい本論の議論は進まない。今まで人事異動で行政の担当者は、何人も変わっており、今年も若い担当の異動が告げられた。東京都の今後の進め方が気付きである。
- 事業内容: 道路計画や周辺まちづくり、地域防災との関連について勉強会の実施や助言等を行う。
 - 特になし。

(4)「三鷹駅北口地区まちづくり準備会」の推進(継続、主担当:高田、副担当:塩澤)

- 事業内容: 引き続き、準備会の活動を支援。
- 準備会として進めてきた活動のうち西久保1丁目の一地区において「西久保一丁目緑をまもるまちづくり協議会」を設立・申請し、協議会として認定された。準備会としては、三鷹駅北口地区におけるまちづくりに関する市民としてのまちづくり活動を引き続き積極的に行い、発信して行くことを確認した。市としての計画方針が示されていない現状ではあるが、今後の計画に大きな影響をもつ空闲地が目につくようになった当該地域について、引き続き市民の側からの意見を、時機を逸せずには発信していきたい。

(5)むさしの減災まちづくり調査研究(継続、主担当:篠原、副担当:南、村井、清本)

- 事業内容: 平成 25 年度に策定された「武蔵野市地域防災計画」に関する、まちづくり視点からの内容検討(勉強会)と、必要に応じた市へのヒアリング調査等の実施。武蔵境の境南小を中心とする防災懇談会に関わることを考える。
- 懇談会の個人会員を継続。組織として自立しており、まちづくり会議としては特に役に立てることはない。境南小を中心とする活動や防災訓練の一部につきお手伝い(篠原)。

2. まちづくりに関する調査研究事業

1)まちの現状や計画、まちづくり制度に関する情報収集及び研究

(6)景観・観光をテーマにしたまちづくりの検討(継続、主担当:南、副担当:村井、山田、河田、篠原)

- 事業内容: 武蔵野市の景観整備や景観ガイドライン策定の取り組み状況を把握し、状況に応じて市長との懇談の場を設け、景観整備に向けた具体的な活動に着手する。
- 市長との懇談機会はまだ設けていない。まちづくり推進課から、2回の景観勉強会に担当者が参加。
- 景観整備に関する会としての知見を向上させるため、勉強会を実施する。必要に応じてまちづくり探訪において景観整備の先行自治体の訪問やヒアリングを実施する。
- 第1回景観勉強会 9月26日(金)
会員、市民、行政職員約 20 名の出席を得て勉強会を開催した。景観整備について、なぜ景観整備が必要なのか、なぜ景観整備が進まないのか、どのような課題があるのか、景観整備の展開手法等について説明し、意見交換を行った。
- 第2回景観勉強会 11月14日(金)
会員、市民、行政職員約 15 名の出席を得て勉強会を開催した。第 1 回目の学習成果を基に、まちの中の景観整備の考えかたや具体的な手法について、映像による説明を実施し、意見交換を行った。

(7)商業地活性化部会・UD 部会合同 (継続、主担当:河田、副担当:山田)

- 事業内容： 吉祥寺商業地域の考察 吉祥寺イースト地区を中心に研究・提言をすすめてきたが、駅舎改修工事も完了して駅南北通路開通、続いて京王電鉄による駅ビルKIRARINAがオープンした。このように駅中心に商業の活性化が期待されるが、他方映画館として長い間営業を続けてきたバウンスシアターが閉店するなど大きな変化の過程にある。イースト地区では南口バス通りと共にキャバクラ等の客引きが目立ち、通行の妨げとなり環境上も好ましくない。以下のテーマで市、市民に提言できるよう、現場視察しながら諸々研究を深めていく。
 - ① 迷惑条例の見直し、客引き防止条例の制定の検討
 - ② 外国人来街者、居住者の増加に関する街のあり方の検討
 - ③ 商業地域の負担感の強い固定資産税その他税一般及び長期視点に立った市財政の研究
- 鋭意研究を進めている。

2) まちづくりへの市民参画に関する情報収集及び研究

(8) まちづくり支援活動の実施（継続、主担当：塩澤、副担当：地区担当者）

- 事業内容： コミュニティ協議会等とは、各地区担当を中心に連携の深化を行う。協力要請があった場合には、まちづくり会議として対応する。
- 今年度は後述する、吉祥寺東コミュニティ協議会からコミュニティの集いへの講師要請を受けた他は特になし。（塩澤）
- 武蔵野市都市マスタープラン改定に伴う地区別意見交換会運営等委託（武蔵野市委託事業）に基づく武蔵野市都市マスタープラン改定に対する提案書平成 22 年 5 月に示した、地区別意見交換会の成果と提案書の取り扱いの考え方の 1 つである「①地区別意見交換会の成果における「まちづくりの課題」に関して、その解決に向けた市民の主体的なまちづくり活動が行われる際には、責任を持って積極的に支援していく」に基づき、市民の主体的なまちづくり活動を支援していく。
- 3.4.27 号線以外、特に具体的な動きはない。

3. まちづくりに関する教育事業

1) まちづくりに関する講習会、シンポジウム等の開催

- 事業内容： 今年度は特段予定しない。
- 前述のように景観勉強会を実施。

2) まちづくりに関する講師派遣

(9) まちづくり出前講座の実施（継続、主担当：各担当役員、管理：内門）

- 事業内容： コミュニティの要請に対応し、専門家を派遣する。
- 2015 年 2 月 26 日（木）吉祥寺東コミュニティ協議会によるコミュニティの集いで、塩澤が「東町のまちづくり」をテーマに、都市計画提案制度などについて講義を実施。

3) まちづくりに関する研修

(10)まちづくり探訪(継続、主担当:南、副担当:その他役員)

- 事業内容: 武蔵野市近隣・近郊のまちづくり事例の研修プログラムを継続実施する。都内の区市において景観整備に継続的に取り組んでいる自治体や地元組織へのヒアリング調査等を実施する。
- 景観研究会を立ち上げたばかりのため未実施。

4. まちづくりに関する普及啓発事業

1)機関紙、研究報告書、啓発書の発行

(11)機関誌「まち」の継続発行(継続、編集長:高田、編集員:各役員、担当、管理:事務局長)

- 事業内容: ウェブ更新後にメルマガとして再編する。
- ウェブ更新ができておらず未実施。

(12)報告書の発行(継続、各担当者)

- 事業内容: 各事業の推進状況や結果については、ウェブ更新後に、担当者を通じて、当会のウェブにて公表する。
- ウェブ更新ができておらず未実施。ただし、定例会議事録については、参加できなかった会員向けに配信するようにした。

2)ホームページの開設・運営

(13)ホームページの抜本的更新等(継続、主担当者:篠原、副担当者:山田、石川、塩澤、管理:事務局長)

- 事業内容: まずは、コンテンツ作成につき、原案を作成し、役員と調整しつつ、HP とブログの作成自体も可能な範囲で自作を試み(すでに簡単なものなら作成できる)、その上で、必要に応じて業者への発注を考えることとしたい。目標としては年内にプロトタイプを試作し、部分運用を開始し、来年度から正式に稼働にこぎつけたい。
- ウェブ更新自体に着手できていない。来年度の重点目標とする。

5. まちづくり又はその研究や普及啓発を目的とする団体との情報交換及びネットワークの構築事業

(14)武蔵野市長、市議、まちづくり担当部門とのネットワークづくり(新規、主担当:篠原、副担当:清本、中島)

- 事業内容: 引き続き、市長、市議、まちづくり担当部門(まちづくり推進課等)との随時・定期的意見交換会や懇談会を設け、課題把握や調整、ネットワークづくりを行う。
- 市長との懇談は未実施。まちづくり会議定例会に参加される市議とは懇談。まちづくり推進課等とは、随時意見交換を行った。

(15)武蔵野NPO・市民活動ネットワークへの参画(継続、主担当:篠原、副担当:内門)

- 事業内容: 団体登録は状況を見て原則として継続。

- 最終的に市民活動ネットワークは市との協働事業もなく、清算が望ましいとの理事長提案があり、総会にて議論した結果、精算手続きに入ることとなった。

(16) 暮らしフェスタむさしの2014への参加 (継続、主担当:清本、篠原、副担当:内門)

- 事業内容: 暮らしフェスタむさし 2014 への参加。
- 「住みよいまちの環境と風景」というテーマで武蔵野市にとっての景観の重要性をパネルにまとめて展示した。

(17) 男女共同参画のまちづくりの検討 (継続、主担当:篠原、副担当:内門)

- 事業内容: 登録は継続。連携機会を検討。
- 具体的な事業機会はなく未実施。

(18) 「武蔵野の森を育てる会」企画会議等への参加 (継続、主担当:村井、副担当:南)

- 事業内容: 境山野緑地で活動する「武蔵野の森を育てる会」の要請を受け、今後の森の育成や更新、活動等について引き続き情報提供等を行う。また、クリーンセンターとの連携による緑化事業の実現に向けて、より具体的な実施方策を検討し、市(事業者)に提案する。
- 境山野緑地の一部伐採更新計画について、市の動向を確認し、必要に応じて情報提供や提案を行う。
- 境山野緑地の苗木が育ち込み合ってきたため、萌芽更新を行いたいとの話があった。まだクリーンセンターの植栽までは間があるので、実施していただくこととした。現在クリーンセンターの植栽は検討段階だが、芝生広場の半分をどんぐりの森とする案が市から提案された。「武蔵野の森を育てる会」との情報交換は継続している。

6. その他目的を達成するために必要な事業・新たに取り組む事業

(19) 「まちづくり会議・むさしの」の定例会の実施 (継続、主担当:篠原、副担当:内門、各役員)

- 事業内容: 予め定例会の日程を7月、9月、11月、1月、3月の第2金曜日とする(年5回)。引き続き定例会記録を役員持ち回りで作成し会員に通知する。
- 第1回定例会: 7月11日(金)外環2、景観への取り組み、暮らしフェスタ2014、3.4.27号線等
- 第2回定例会: 9月12日(金)外環2、暮らしフェスタ2014、景観ガイドラインへのステップ等
- 景観勉強会: 9月26日(金)第1回景観勉強会
- 第3回定例会: 11月14日(金)第2回景観勉強会、三鷹まちづくり準備会、小平市情報公開請求等
- 第4回定例会: 2015年1月16日(金)坪原氏による「歩行者と自転車と車が共存する道路 in オランダ」講演会
- 第5回定例会: 3月13日(金)長期調整計画、景観への取り組み、3.4.27号線、外環2等

(20) 財政研究会に参加し、財政白書の発刊を支援 (新規、主担当:篠原、副担当:清本、管理:内門)

- 事業内容: 白書づくりに関わる方々の今後の目標に沿って、参加を検討していくこととしたい。

- 「むさしの市民財政白書2」の企画執筆編集を分担。7月 23 日(水)に財政学習会を開催し、白書の報告会を実施。11 月 4 日(火)には、「武蔵野市の公共施設に関する取り組み」と題し、市の総合政策部企画調整課堀内参事を招き、講演会及び意見交換会を実施、武蔵野市における公共施設の現状と今後のあり方を考えた。

(21) 武蔵野市第5期長期計画・調整計画討議要項ヒアリング対応及び意見書提出(篠原、南)

- 市からの要請により2月21日に市役所でのヒアリングに対応。意見書を提出。

(22) 地域コミュニティ検討委員会提言に対する意見書提出(塩澤、内門)

- 6月18日までのパブリックコメントに対応し、コミセンと地域フォーラムの役割について意見書を提出。

(23) 成蹊大学ボランティア支援センター設立記念講演会に参加(篠原、南)

- 成蹊大学支援センター招待により参加。学生及び教職員のボランティア等の社会貢献・地域交流活動の推進・支援ということで、支援センターが設立されたため7月5日の記念講演会に参加。誰を支援しているのかといえば、学生及び教職員であり、我々とはやや目標のずれを実感。

(24) 第9回市民自治連絡会にてまちづくりをテーマに講演(清本、篠原)

- 市民自治連絡会の高木氏からの要請により、11月1日、中央コミセンにて、武蔵野市のまちづくりへの関わり、まちづくり条例制定の意義と役割、課題、都市計画マスタープランについて講演。

(25) まちづくり委員会市民委員への就任

- まちづくり市民委員会において、景観整備に関する議論が行われるとの情報を得たため、景観担当の南副代表が平成27年度の市民委員(定員3名)に応募して採用された。
- まちづくり委員会の専門委員は以下の通り

委員名	職等
作山 康(委員長)	芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科 教授
野口 和雄(副委員長)	有限会社野口都市研究所 代表取締役
阿部 伸太	東京農業大学地域環境科学部造園科学科 准教授
山内 章	弁護士(中野通り法律事務所)

以上

別紙1-2(平成26年度収支計算書)

平成26年度収支計算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

単位:円

	収入	支出
会費・入会金		
入会金	0	
会費	50,000	
事業		
(1)まちづくり事業		
外環の地上部街路話し合い	68,000	
(2)教育事業		
くらしフェスタ		13,608
(3)普及啓発事業		
ホームページの運用		12,940
その他収入		
補助金	5,000	
寄付	830	
利息	147	
事務管理費		
消耗品		5,444
通信費		620
合計	123,977	32,612

収支差額	91,365
期首繰入(前期残高)	829,202
期末繰越(当期末残高)	920,567

別紙1－3(会計監査報告)

「特定非営利活動法人市民まちづくり会議・むさしの」の平成26年度の会計処理について、
会計原則に基づいて精査しましたところ、全てが適正に処理されていることを確認しました。

平成27年4月21日

特定非営利活動法人市民まちづくり会議・むさしの

幹事 勝倉 啓仁



幹事 清本 和子



別紙2-1(平成27年度事業計画)

1. まちづくり事業

1) 地区計画等のまちづくりの構想や計画の策定

(1) 武蔵野市都市計画マスタープラン推進状況のモニタリング方策検討及び実施(継続、各地区担当者)

- 事業内容: 昨年度に続いて、主担当・地区担当を通じて実施する。

2) まちの利便、景観、環境、安全等の保全や向上に資する実践活動

(2) コミュニティ支援事業(継続、各地区担当者)

- 事業内容: コミュニティ要請に応じて対応する。

(3) 「外環の地上部街路に関する話し合いの会」への副司会者の派遣等(継続、主担当:村井、副担当:南、塩澤、篠原)

- 事業内容: 昨年度とおり、話し合いの会については、「準備会」、「本会議」の2回出席し、進行補佐の役を務める。

(4) 三鷹駅北口地区まちづくり協議会・準備会への支援(継続、主担当:高田、副担当:塩澤)

- 事業内容: まちづくり協議会へ進展した西久保1丁目の地区まちづくり計画制定への動きに向けての支援を続けるとともに、三鷹駅北口地区を舞台としたまちづくり準備会の活動への支援をおこなう。

2. まちづくりに関する調査研究事業

1) まちの現状や計画、まちづくり制度に関する情報収集及び研究

(5) 景観・観光をテーマにしたまちづくりの検討(継続、主担当:南、副担当:村井、山田、河田、篠原)

- 事業内容: 武蔵境地区では、5月24日に境地区と JR 高架下、プレイス周辺を中心に、武蔵野ふるさと歴史観を訪ねながら、街の現状と方向性をウォッチングし、様々な景観の観点から勉強し意見交換を実施。
- 事業内容: 中央地区は、実施日は未定であるが、昨年度まちづくり協議会に進展した西久保1丁目地区を中心に、街の現状とその方向性を見てもらうとともに、三鷹駅北口地区に少しずつ根付いていきたいくつかの小さなお店を見てもらいながら、まちおこしの現在を確認するようなルートを検討している。
- 事業内容: 吉祥寺地区は、実施日が未定だが、休日の場合は住宅地を中心にルート設定をする予定。候補として、沿道景観が大きく変化している地域(御殿山通り、旧法政通り)を検討している。
- 事業内容: 市では、平成27年4月から9月にかけて「歩いて考える 景観まちづくりワークショップ」を5回開催するため、これには篠原理事長が参加する。第1回は4月25日(土)の午後に実施。その後、5月24日(日)、6月13日(土)、6月27日(土)、9月6日(日)と実施予定。

(6)商業地活性化部会・UD 部会合同 (継続、主担当:河田、副担当:山田)

- 事業内容: 迷惑条例の見直し、客引き防止条例の制定の検討、外国人来街者、居住者の増加に関する街のあり方の検討、商業地域の負担感の強い固定資産税その他税一般及び長期視点に立った市財政などの研究を引き続き進める。

2)まちづくりへの市民参画に関する情報収集及び研究

(7)まちづくり支援活動の実施(継続、主担当:塩澤、副担当:地区担当者)

- 事業内容: コミュニティ協議会等とは、各地区担当を中心に連携の深化を行う。協力要請があった場合には、まちづくり会議として対応する。
- 事業内容: 武蔵野市都市マスタープラン改定に伴う地区別意見交換会運営等委託(武蔵野市委託事業)に基づく武蔵野市都市マスタープラン改定に対する提案書平成 22 年 5 月に示した、地区別意見交換会の成果と提案書の取り扱いの考え方の 1 つである「①地区別意見交換会の成果における「まちづくりの課題」に関して、その解決に向けた市民の主体的なまちづくり活動が行われる際には、責任を持って積極的に支援していく」に基づき、市民の主体的なまちづくり活動を支援していく。

3. まちづくりに関する教育事業

1)まちづくりに関する講習会、シンポジウム等の開催

- 事業内容: 引き続き景観研究会を実施する。(予算は(5)に計上する)

2)まちづくりに関する講師派遣

(8)まちづくり出前講座の実施(継続、主担当:各担当役員、管理:内門)

- 事業内容: コミュニティの要請に対応し、専門家を派遣する。

3)まちづくりに関する研修

(9)まちづくり探訪(継続、主担当:南、副担当:その他役員)

- 事業内容:武蔵野市近隣・近郊のまちづくり事例の研修プログラムを継続実施する。今年度は秋頃に、都心における景観的に心地よい空間を感じるための視察を企画する。

4. まちづくりに関する普及啓発事業

1)機関紙、研究報告書、啓発書の発行

(10)機関誌「まち」の継続発行(継続、編集長:高田、編集員:各役員、担当、管理:事務局長)

- 事業内容: ウェブ更新後にメルマガとして再編する。

(11)報告書の発行(継続、各担当者)

- 事業内容: 各事業の推進状況や結果については、ウェブ更新後に、担当者を通じて、当会のウェブにて公表する。

2)ホームページの開設・運営

(12)ホームページの抜本的更新等(継続、主担当者:篠原、副担当者:山田、石川、塩澤、管理:事務局長)

- 事業内容: ホームページ部会を設け、月1回のペースで方針と具体的な内容を固める。今年度は、内容を固める際から IT 技術者の参画を得て、発信、意見交換、アーカイブ機能をもつ新たなホームページづくりに着手する。IT 技術者については、有償を前提とし、じっくりつきあってもらえる方を募る。

5. まちづくり又はその研究や普及啓発を目的とする団体との情報交換及びネットワークの構築事業

(13)武蔵野市長、市議、まちづくり担当部門とのネットワークづくり(新規、主担当:篠原、副担当:清本、中島)

- 事業内容: 引き続き、市長、市議、まちづくり担当部門(まちづくり推進課等)との随時・定期的意見交換会や懇談会を設け、課題把握や調整、ネットワークづくりを行う。

(14)くらしフェスタむさしの 2015 への参加(継続、主担当:村井、副担当:内門)

- 事業内容: 今年のテーマは、「絵になる市民農園」。市民農園は農業資源の維持・保全という使命はあるが、区画内の運営は借りた個人に任せられ、生産に偏った所が見られる。マルチングのビニールや収穫後のごみの処分など、「農の風景」としての「市民農園」のあるべき姿を考える。

(15)男女共同参画のまちづくりの検討(継続、主担当:篠原、副担当:内門)

- 事業内容: 具体的な事業はこれまでもないことから登録を取りやめる。

(16)「武蔵野の森を育てる会」企画会議等への参加(継続、主担当:村井、副担当:南)

- 事業内容: 今年も「武蔵野の森を育てる会」との情報交換を継続し、クリーンセンターに武蔵野育ちの雑木を植える企画を進める。

6. その他目的を達成するために必要な事業・新たに取り組む事業

(17)「まちづくり会議・むさしの」の定例会の実施(継続、主担当:篠原、副担当:内門、各役員)

- 事業内容: 予め定例会の日程を7月、9月、11月、1月、3月の第2金曜日とする(年5回)。引き続き定例会記録を役員持ち回りで作成し会員に通知する。

(18)財政研究会に参加し、財政白書の発刊を支援(新規、主担当:篠原、副担当:清本、管理:内門)

- 事業内容: 今年度も具体的な要請があれば参加し協力する。

以上

別紙3-2(平成27年度予算)

平成27年度収入：

昨年度繰越額	¥920,567	
会費収入	¥52,000	会員数26人
活動による収入	¥34,000	外環副議長
収入合計	¥1,006,567	

平成27年度支出：

1 事業費			
1まちづくり事業			
都市マス推進状況モニタリング方策検討実施	¥5,000	謝礼、資料、交通費、コピー等	
コミュニティ支援事業	¥10,000	2件の支援を想定	
三鷹駅北口地区まちづくり準備会	¥10,000	シンポジウム等対応	
2 まちづくりに関する調査研究事業			
景観・観光研究	¥20,000	ヒアリング謝礼・資料代等	
商業活性化部会・UD部会	¥5,000	資料、交通費、コピー等	
3 まちづくりに関する教育事業			
まちなみ探訪	¥5,000	ヒアリング謝礼・資料代等訪問先謝	
企画経費	¥5,000	情報集、資料収集等	
4 まちづくりに関する普及啓発事業			
ホームページの更新・維持管理・抜本更新	¥350,000	再作成費用を含む	
5 まちづくりに関連する団体との交流事業			
フェスタ準備(パネル、印刷費用等)	¥20,000	年会費及び交通費、文具、材料費等	
2 管理費			
	¥30,000	事務局運営費	
3 予備費	¥50,000		
支出合計	¥510,000		

収支差額(次期繰越額)：

¥496,567

参考：平成27年度会員名簿

1	代 表	篠原 二三夫	理事長
2	副代表	南 賢二	理事
3	”	河田 弘昭	
4	”	高田 典夫	理事
5	”	村井 寿夫	
6	”	山田 朗	理事
7	監 事	勝倉 啓仁	監事
8	”	清本 和子	監事
9	事務局長	内門 秋弘	
10	会 員	塩澤 誠一郎	
11	”	西村 まり	
12	”	高田 昭彦	
13	”	田辺 軌夫	
14	”	石川 知穂	
15	”	深田 貴美子	
16	”	川名 ゆうじ	
17	”	内山 さと子	
18	”	中島 敏	
19	”	手塚 一郎	
20	”	きくち 太郎	
21	”	中村 郁博	
22	”	竹山 悠紀子	
23	”	山本 ひとみ	
24	”	松下 玲子	
25	”	坪原 紳二	
26	”	青木 一郎	

